

JICA 開発大学院連携プログラム（各大学におけるプログラム）概要

大学名	神戸大学大学院
研究科名	国際協力研究科
研究科の特色	<a href="http://www.gsics.kobe-u.ac.jp/indexj.html">http://www.gsics.kobe-u.ac.jp/indexj.html</a>
プログラム概要：	対象学生は2科目4単位以上を履修することによって、日本の開発経験や開発途上国における日本のODAの役割を学習し、これらを深く理解することにより、本プログラムの成果を達成する。これにより、本プログラム履修生が母国に帰国した後、例えば日本の開発経験を参考の一つとして、本国の実情にあった的確な政策立案をし、これを実行する際に中心的な役割を担うことのできる人材となることが期待される。
「日本の開発経験に関する講義」の概要	<p>① Human Capital Development</p> <p>「講義概要」日本の教育経験について明治時代から現代に至るまでの教育政策、教育改革などについて概説し、日本の経済成長、経済発展とも絡めて日本の教育開発についても説明する。</p> <p>「担当教員」小川啓一教授 「開講時期」秋学期 「単位数」2単位</p>
	<p>② Law and Economic Development</p> <p>日本の近代法整備の過程では、経済開発一辺倒に設計された当初の民商事法を、判例法・特別法の蓄積を通じて社会政策的課題と調整しうる方向で修正が重ねられた。こうした日本の開発経験に学びつつ、アジア諸国にとって持続的な開発志向と調和しうる制度設計を検討することが、本講義の課題である。</p> <p>「担当教員」金子由芳教授 「開講時期」春学期 「単位数」2単位</p>
	<p>③ Local Government</p> <p>「講義概要」日本の自治体を歴史的に検討する中で、公害や福祉政策等、自治体が直面した諸問題にどう対応したかを検討する。</p> <p>「担当教員」松並潤教授 「開講時期」秋学期 「単位数」2単位</p>
	<p>④ Disaster Risk Management</p> <p>「講義概要」自然災害が多発する日本では、防災・減災への科学技術研究が積極的に行われており、その研究成果を国内外の災害減少へ生かそうという努力が行われている。本講義では、このような日本の経験に関して、これまでの経緯や研究内容・災害減少への取り組みについて説明する。</p>

	<p>「担当教員」 織田澤利守教授  「開講時期」 秋学期  「単位数」 2 単位</p> <hr/> <p>⑤ Post-Disaster Recovery Planning</p> <p>「講義概要」 JICA による諸外国での復興支援・防災活動を紹介し、日本減災・復興に対する知見がどのように適用されているのかを講述する。  「担当教員」 近藤民代教授  「開講時期」 春学期  「単位数」 2 単位</p>
関連 URL	URL: <a href="http://www.gsics.kobe-u.ac.jp/students/syllabi.html">http://www.gsics.kobe-u.ac.jp/students/syllabi.html</a>